

大学との連携を特別支援教育推進の大きな追い風に

ティーチングアシスタント（TA）の導入については、特別支援教育の体制整備の大きなアクションとして、先生方に日々発信をしているところです。

今回縁あって、大東文化大学 山中ゼミとのつながりが本校でも生まれました。わたくしの前任校では、3年半にわたって、互いに「ウインウイン」の良好な関係を築いてきました。

学生が、延べ約30名、年間を通し特別支援の個別支援（学習・生活指導）のスタッフとして児童と関わってくれました。

運動会の児童管理や組体操の補助、校外学習の引率補助、就学時健康診断の事務補助、校内研究会の自主研修など、様々な場面で貢献をしてくれるとともに、現場の経験を積みられました。

数名は、移動教室や夏季プールの補助員として重要な役割を担ってくれました。

教員採用試験の練習（論文、面接）の場を提供するとともに、多くの学生が、試験に合格し実際に前任校の学級担任として採用となった方もおられました。

山中吾郎先生は、国語科のご専門です。前任校では、4年間の国語科の研究にご指導をいただきました。特に、物語文や説明文の教材研究の面白さを、具体的な指導場面にに基づきご指導をいただき大きな成果を上げることができました。

先週、以下のメールをいただきました。山中先生のほとばしる教育にかける熱意と意気込み、そして何より本校の特別支援教育の推進への期待感が感じられます。

吉川文章校長先生

この度は私どもの無理なお願いをお聞き入れくださり、ありがとうございます。依頼文書を添付いたしました。よろしくご査収ください。

本日（月曜日）、ゼミの学生たちの意向を尋ねたところ、校長先生や北町西小の先生方がお許しくださるのなら、ぜひ3日間お世話になりたいと申しおりました。またとない貴重な学習の機会を与えていただけるということ、学生たちもよく理解しているようです。文書には図々しくも期日を9月5・6・7日の3日間と記しております。あまりにご迷惑に過ぎるようでしたら、5日、6日の2日間だけでも、私どもは十分でございます。貴校のご都合に合わせてご指示ください。

私のゼミには9人の3年生が所属していますが、うち2名が同じ日程で介護体験実習に行くことが決まっており、7名でお邪魔いたしたく存じます。参加できなくなってしまった2名の学生は、たいへん残念がっておりました。

北町西小の子どもたちや先生方との出会いを、私も楽しみにしております。詳細については、期日が近づきましたら改めてご相談させていただければ幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。

大東文化大学文学部教育学科 山中吾郎

裏面に、依頼文書を添付いたします。基本的には、3日間の受け入れをする考えです。慎一先生、清常先生をはじめとして、先生方と円滑、効果的な実施方法を工夫していきましょう。